

ICE HOCKEY PENALTY

HOME 5:00 VISITOR
0

1
2
3
4
MC

FUNCTION

FUNC AC EDIT

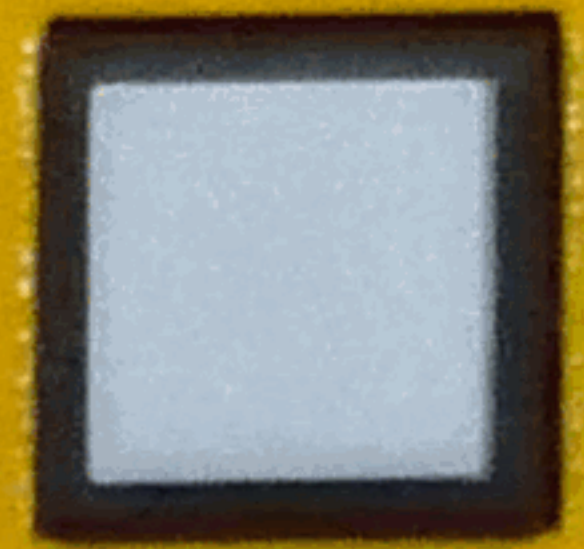
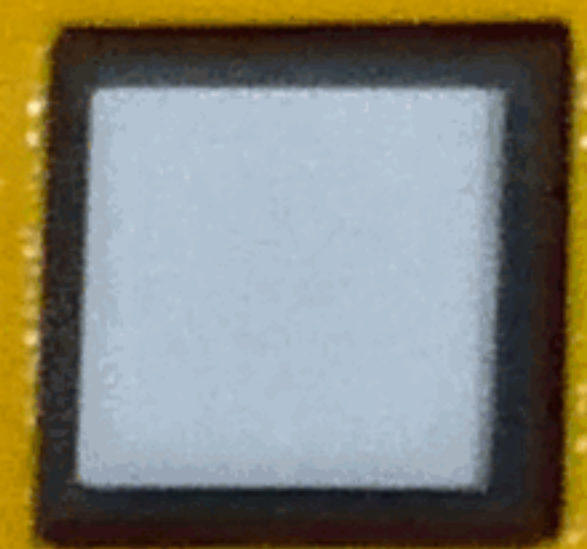
  

SIDE CHANGE



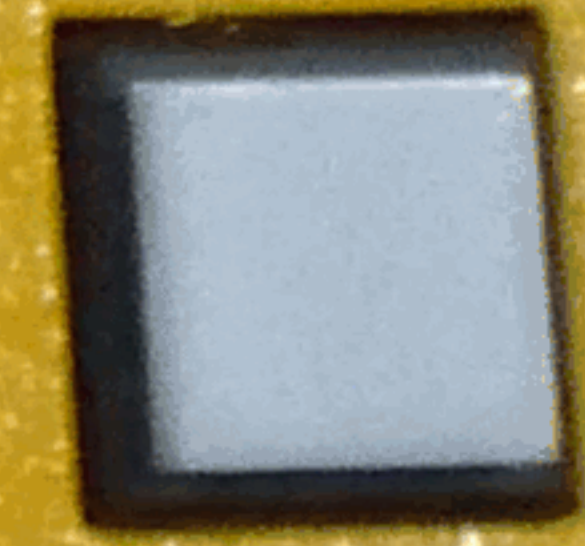
ICE HOCKEY PENALTY

TIME OUT DELETE



7	8	9	→
4	5	6	←
1	2	3	MC
0	+	.	SET

TIME OUT DELETE



No. TIME

No. TIME

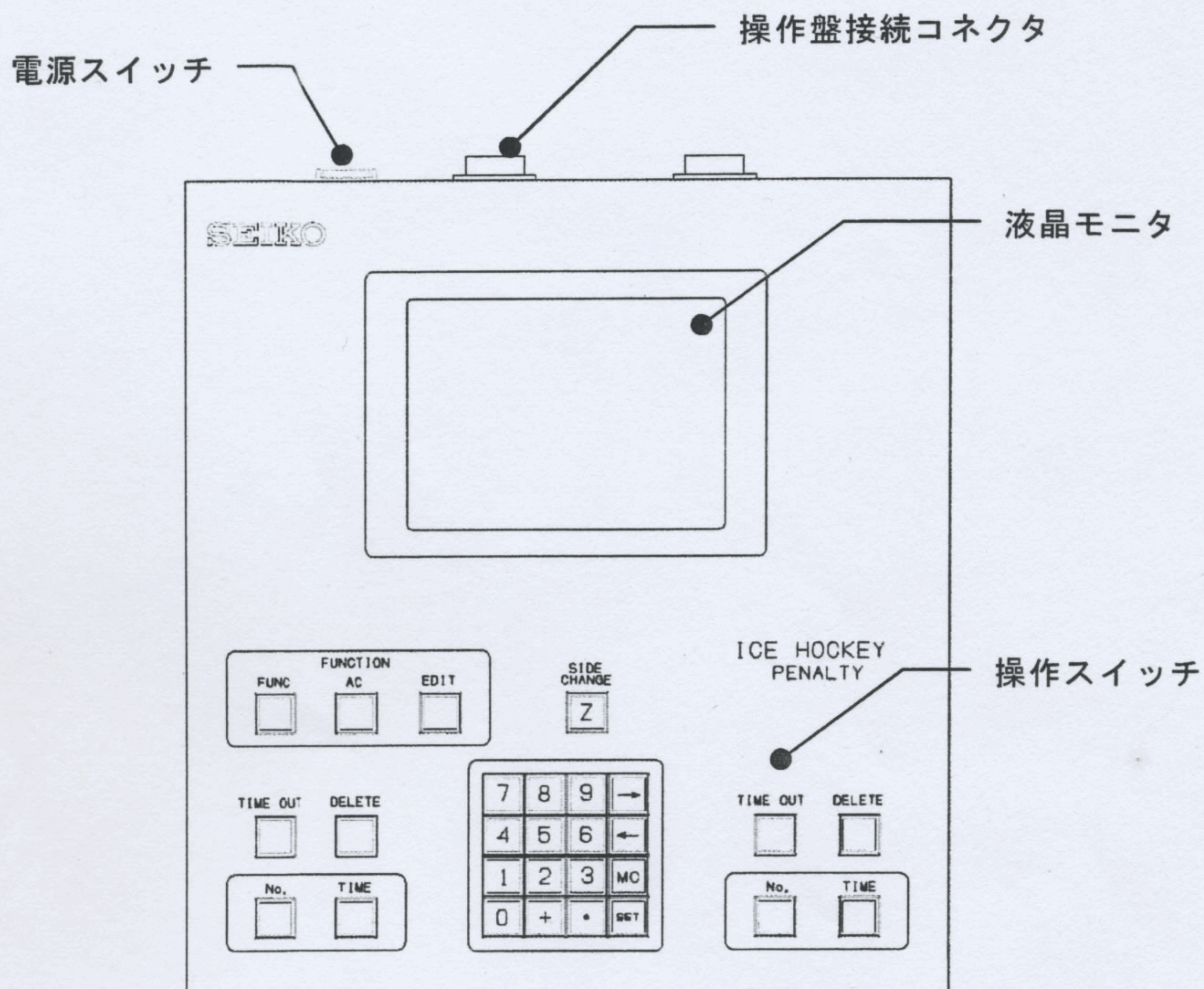
 

6 ペナルティ操作盤 (PENALTY)

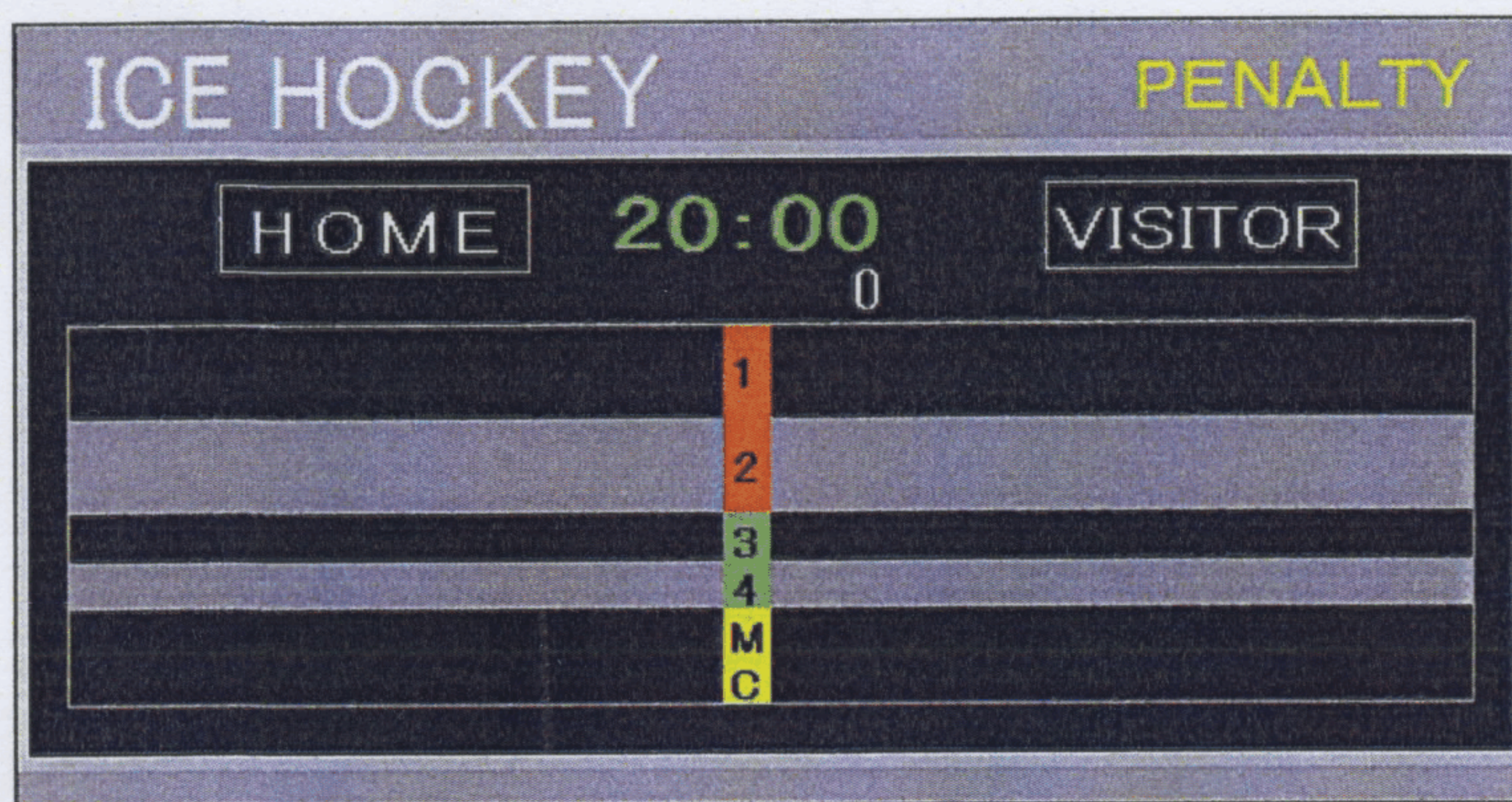
この操作盤は、ペナルティタイム、ペナルティ選手No. を入力し、ペナルティタイムを計測する操作盤です。また、タイムアウトの設定もできます。

この操作盤は、通常得点操作盤に接続されます。

6.1 各部の名称



電源を投入すると、下記の画面が表示されます。



No.、**TIME**、**DELETE**、**TIME OUT** のキーは、HOMEチーム用(左側)、VISITOR用(右側)と分かれています。以下の説明では、片方のみ説明をしておりますが、両方共通に使用できます。

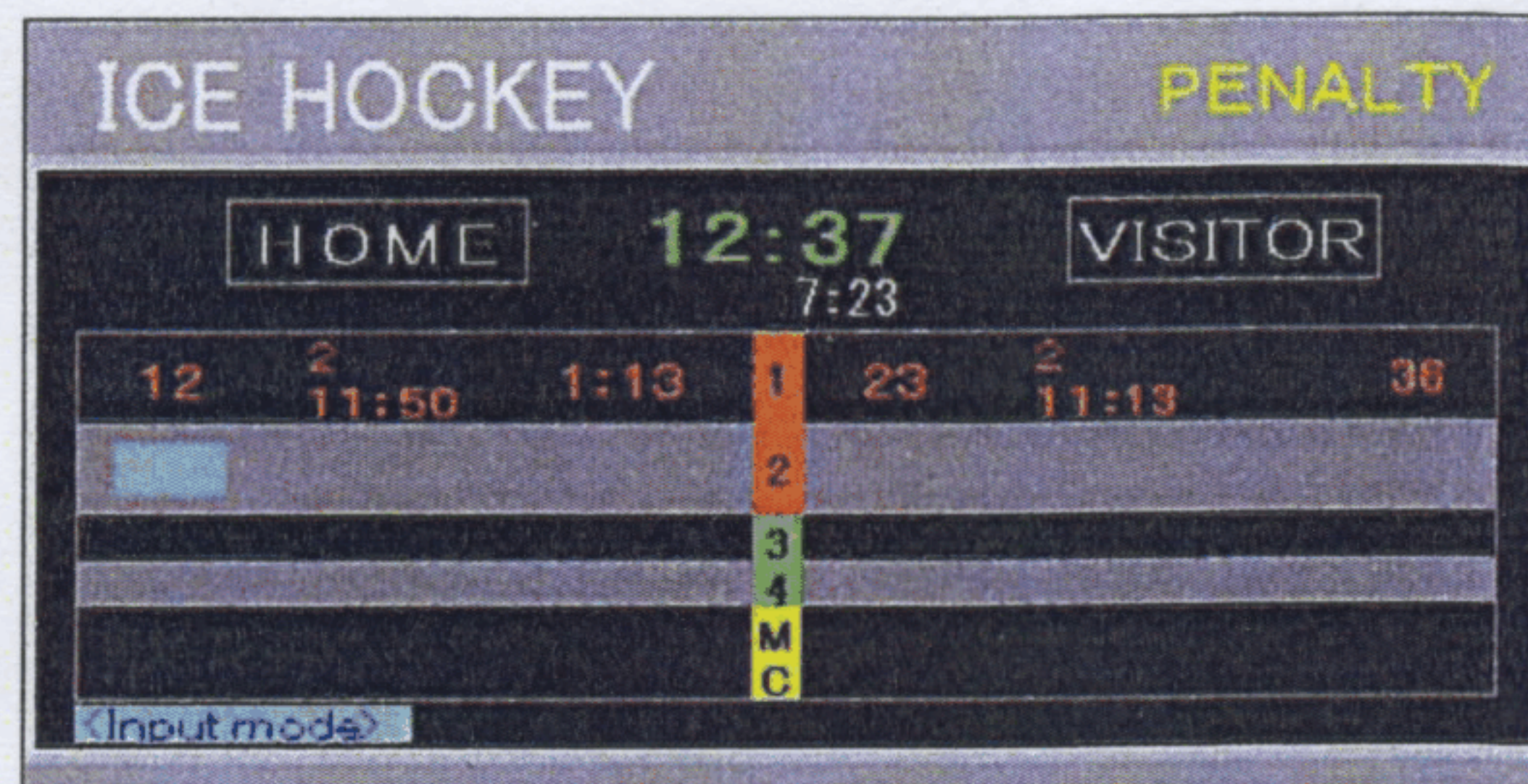
① オールクリア **FUNC** + **AC**

ペナルティ操作盤のデータを消去し初期状態にする場合は、**FUNC** と **AC** の2つのキーを押します。時間操作盤のオールクリアにてペナルティ操作盤のデータを消去しますので、ペナルティ操作盤では特に押す必要はありません。

② ペナルティ選手番号の入力 **No.** → (番号入力) → **SET**

ペナルティの選手番号を入力するときは、**No.** キーを押します。

No. キーを押すと、選手番号表示エリアが反転・点減表示され、選手番号(1~99)の入力状態になります。数字キー2桁にて選手番号を入力し、**SET** キーを押します。

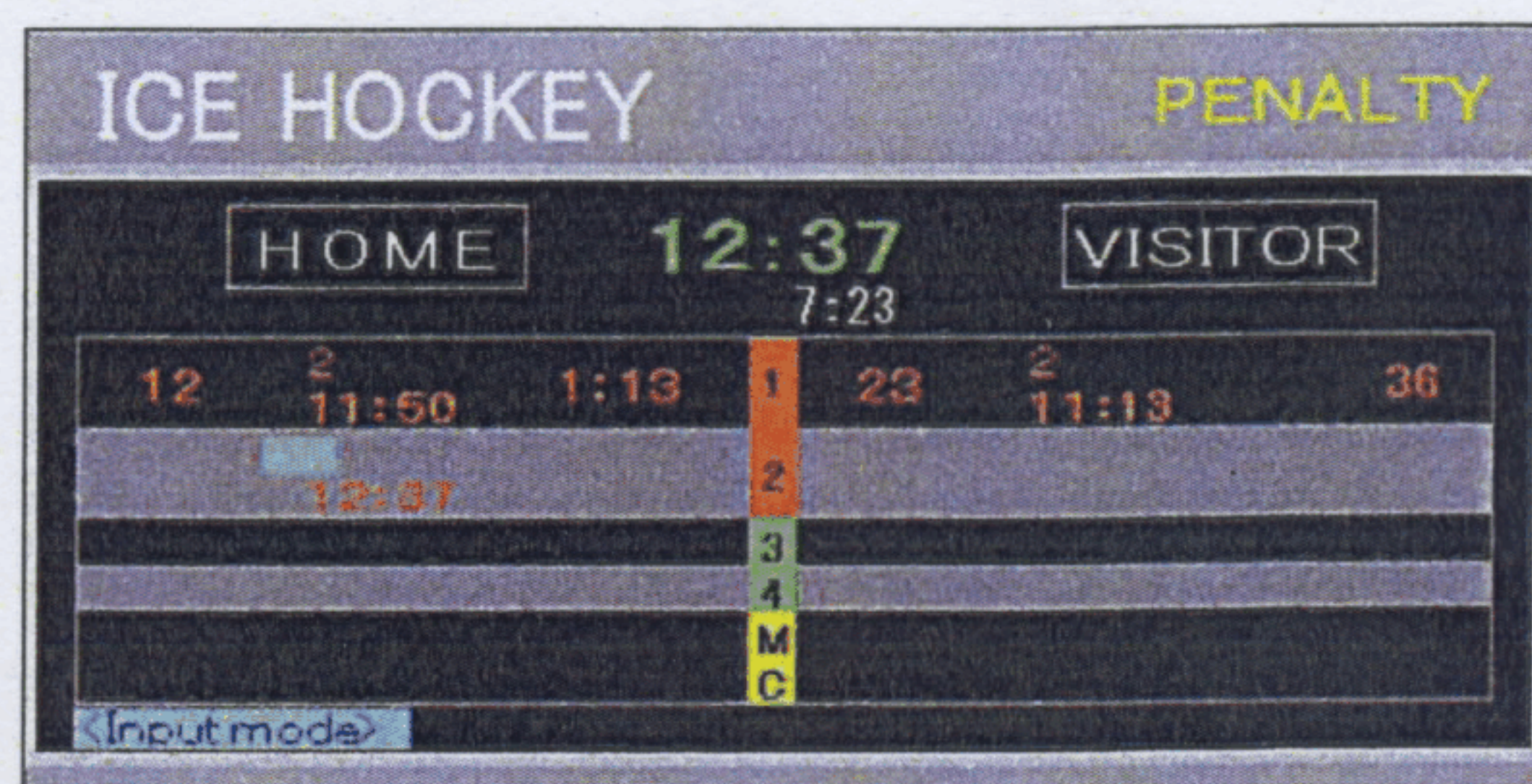


ペナルティの入力は、4人まで可能です。なお、ペナルティの入力は、ペナルティ選手番号、ペナルティタイムのどちらから入力することができます。

③ ペナルティタイムの入力 **TIME** → (時間入力) → **SET**

ペナルティタイムを入力するときは、**TIME** キーを押します。

TIME キーを押すと、ペナルティタイム表示エリアが反転・点減表示され、ペナルティタイムの入力状態になります。タイムはテンキーにて入力し、**SET** を押します。ペナルティが複数構成の場合、**+** キーにて「2+2」



というようにタイムを入力します。この構成は3つまで可能です。(例:2+2+3)

上位2人の場合は、**TIME**キーを押したときの、カウント開始時間が自動的に挿入され、その時間と現在時間の差を元に、残時間の計算を行います。下位の2人は、上位のペナルティが0となり繰り上がったときに、カウント開始時間が挿入され、残時間の計算を行います。

右の例は、ペナルティ選手番号を入力する前に、ペナルティ時間を入力する場合がありますが、このとき選手番号は「？」が表示されます。

④ ミスコンダクト・ペナルティの入力 **MC**

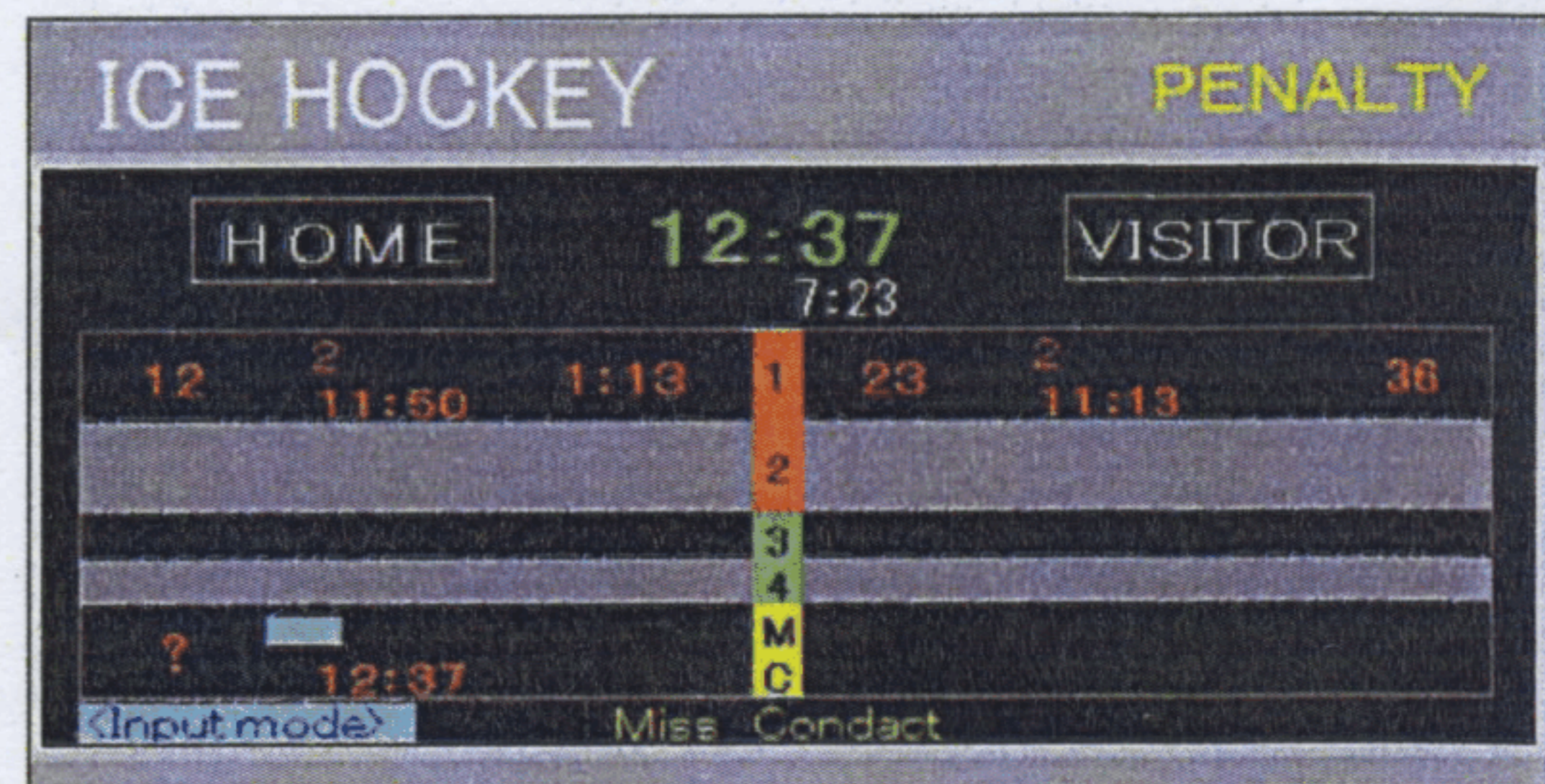
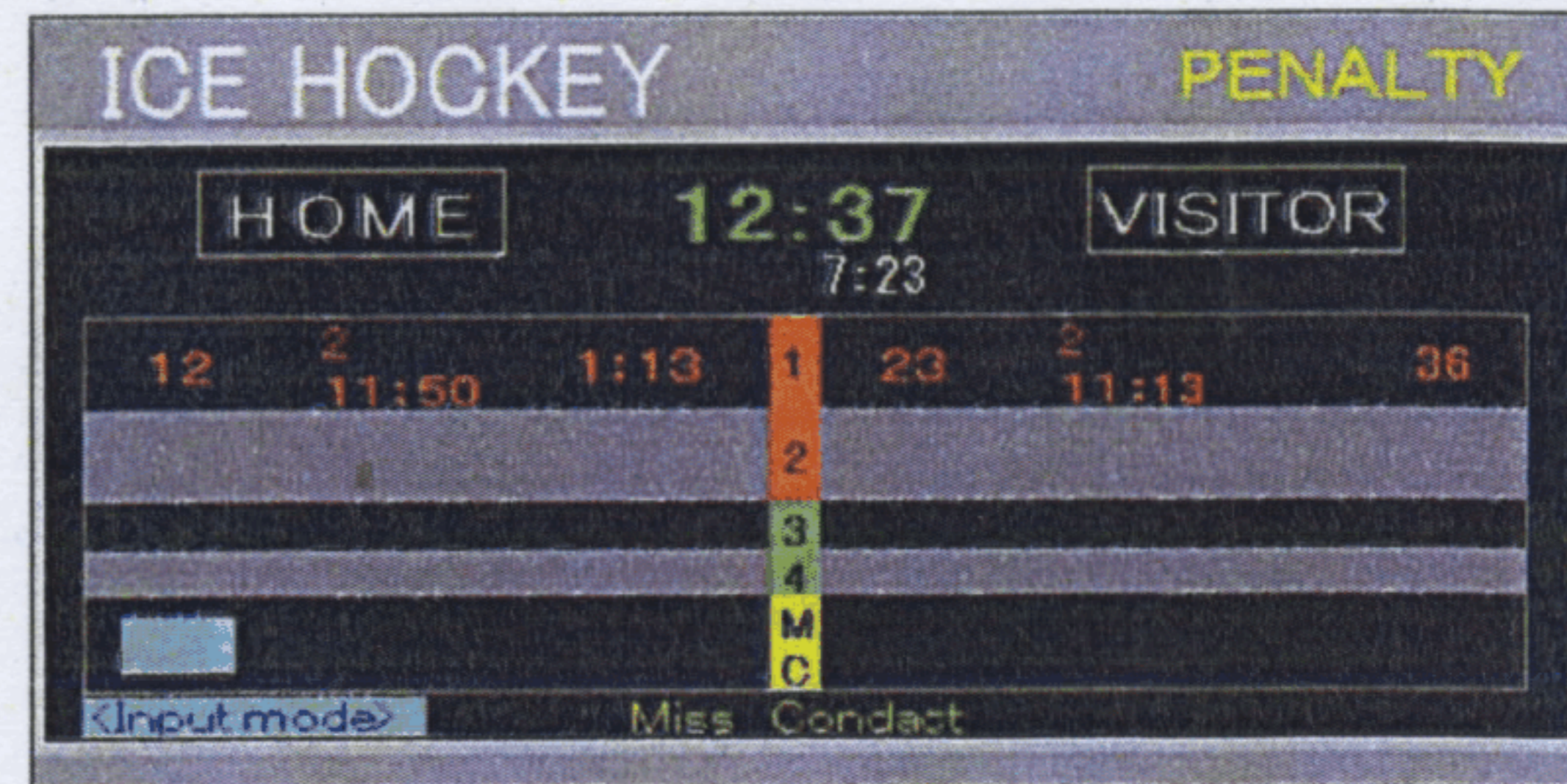
ミスコンダクト・ペナルティを入力するときは、

MCを押します。右の図のように、「Miss Conduct」の文字列が最下段に表示されます。

ここで、**No.**を押すと、ミスコンダクト・ペナルティ選手番号の入力状態となり、また**TIME**を押すと、ミスコンダクト・ペナルティタイムの入力状態となります。いずれも入力方法は、前述のペナルティと同様です。

ミスコンダクト・ペナルティ選手番号、ミスコンダクト・ペナルティタイムの両方を入力すると、ミスコンダクトの入力状態は解除されます。

また、間違っ**MC**を押したときなどは、再度**MC**を押して解除します。



⑤ ペナルティの編集 **FUNC** + **EDIT** → (編集) → **FUNC** + **EDIT**

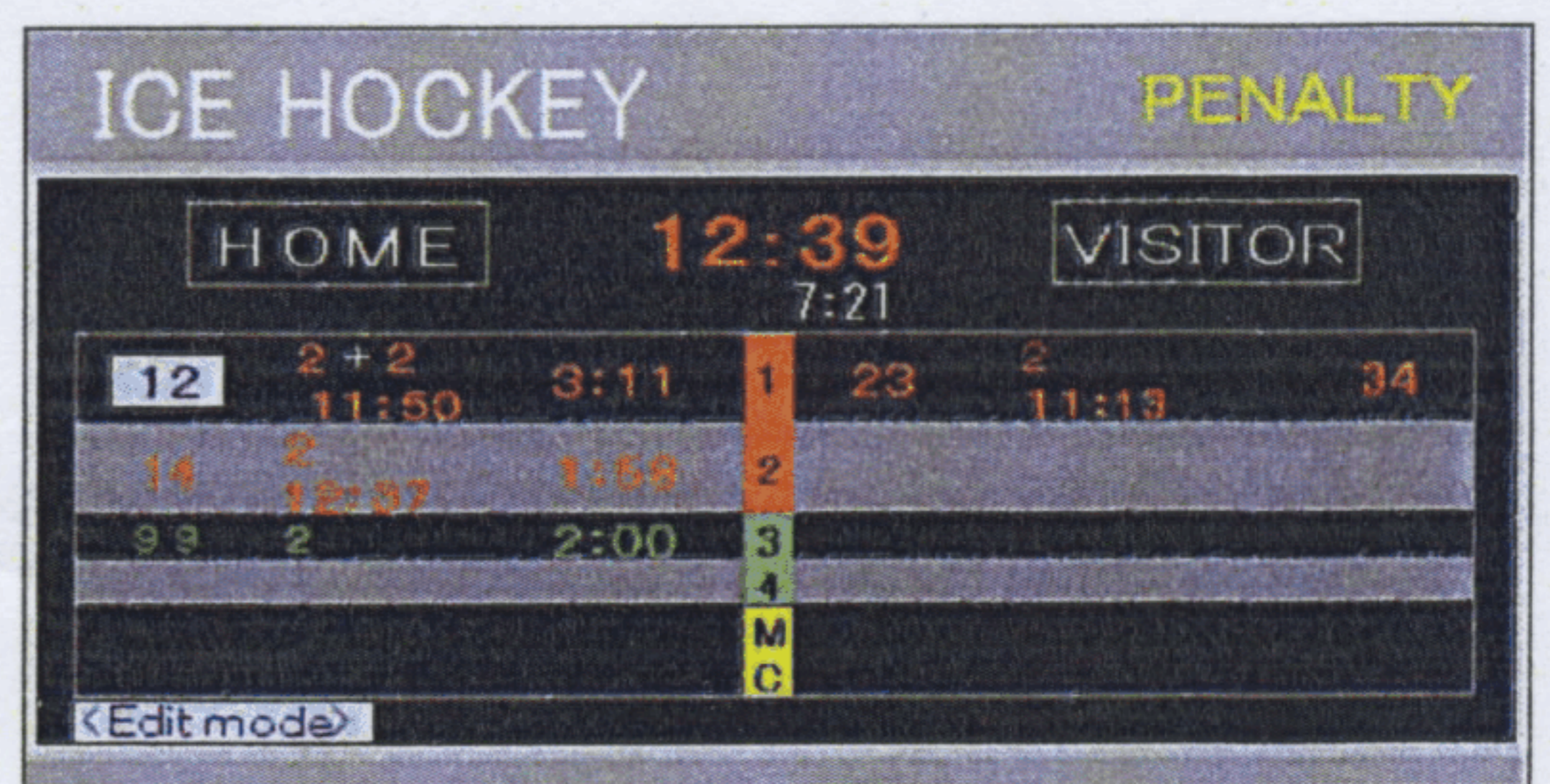
ペナルティ選手番号、ペナルティタイム、ペナルティ開始時間の編集を行うときは、

FUNC + **EDIT**を押します。ペナルティの残り時間は編集できません。

ペナルティの編集は、HOME1の選手番号が反転・点滅します。**EDIT**を押すと、HOME1→VISITOR1→HOME2→のように入力箇所が移動します。ペナルティタイム、ペナルティ開始時間を編集するときは、カーソル移動キー(← →)を使用します。

数字キーにより、ペナルティ選手番号、ペナルティタイムの編集をし、**SET**キーで確定します。ペナルティ開始時間の入力には、数字キー5桁にて入力するか、**+**(+1秒)、**・**(-1秒)にて入力することができます。

終了するときは、再度**FUNC** + **EDIT**を押します。



⑥ ペナルティの削除1 DELETE → SET

相手チームに得点が入ると、ペナルティが1つ免除されます。このペナルティを削除するときは、DELETEを押します。

1番目のペナルティ選手番号が反転・点減し、ペナルティ時間の最初の時間が反転します。

1番目のペナルティを削除するときは、

ここでSETを押します。この場合、最初の2分のみが削除され、残り2分となります。

2番目のペナルティを削除するときは、DELETEを押して、反転・点減箇所を移動し、

SETを押します。再度、DELETEを押すとこのモードは解除されます。この削除で対象となるペナルティは上位2人分のみです。

ICE HOCKEY						PENALTY	
HOME			12:39	VISITOR			
						7:21	
12	2 + 2	3:11	1	23	2	11:13	34
14	2	1:58	2				
			3				
			4				
			M				
			C				

<Delete 1 mode>

⑦ ペナルティの削除2 FUNC + DELETE → SET

入力間違いなどのペナルティを削除するときには、

FUNC + DELETEを押します。

ペナルティの削除1では、削除対象が上位2人分のみですが、このモードでは、ミスコンダクトも含めた5人分が対象となります。DELETEを押して、反転・点減箇所を移動し、SETを押します。

また、HOME のペナルティを VISITOR に、移動することができます。

移動するペナルティに反転・点減箇所を移動し、→を押します。

同様に、VISITOR ののペナルティを DELETE を押して、は ← を押すことにより、VISITOR ののペナルティを HOME に移動することができます。

ICE HOCKEY						PENALTY	
HOME			12:39	VISITOR			
						7:21	
12	2 + 2	3:11	1	23	2	11:13	34
14	2	1:58	2				
99	2	2:00	3				
			4				
			M				
			C				

<Delete 2 mode>

⑧ ペナルティの交換 FUNC + No.

ペナルティの表示は、各チーム入力した順に上から表示していきませんが、残ペナルティの少ない方を下段から上段に移動し、表示させたい時は、FUNC + No.を同時に押すことにより、上下の表示が入れ替わります。但し、この移動が出来るのは上位2人までです。

⑨ タイムアウト TIME OUT

タイムアウトを実行するときは、TIME OUTを押します。

タイムアウトは30秒からカウントダウンし表示されます。

HOME のタイムアウト実行中に、VISITOR の TIME OUT を押すと、VISITOR 側で継続します。

また取り消す場合は、再度同じ TIME OUT を押します。

この操作は、時間停止中のみ有効です。

ICE HOCKEY						PENALTY	
HOME			12:37	VISITOR			
						7:23	
30							
12	2	1:13	1	23	2	11:13	36
			2				
			3				
			4				
			M				
			C				